科目ナンバー	SEM-4-005-ky			科目名	卒業	卒業研究 (松本)								
教員名	公本 学				開講年度等	学期 202	20年度 前其	~後期	単位数	4				
概要	の調査研究を に研究構想の の研究経過	な講義は病や障害などの様々ないきづらさについての理解と支援を目指す臨床発達心理学的な立場から の調査研究を行うための実践的講義である。受講生は各自の関心に基づき、課題演習1,2を通じて3年次 に研究構想の基礎となるレビュー論文をまとめている。本講義では各自の研究テーマについて、複数回 の研究経過発表によって検討を行い、必要な文献検討を行いながら、卒業研究での調査ができる研究デザ インを学生自らが作り上げることを狙っている。												
劉達日標	最終的に,各自の問題関心について十分な文献検討と発表を通じた研究デザイン作成を行ったうえで,心 里学的な手法を用いて卒業論文を書き上げることを目標とする。													
「共愛12のカ」との	)対応													
識見		自律する力			コミュニケーションス		問題に対応		 応する力					
共生のための知識		自己を理解する力			伝え合う力			分析し、	思考する力	0				
共生のための態度		自己を抑制する力			協働する力			構想し、	実行する力	0				
グローカル・マイ ンド		主体性		0	関係を構築	きする力		実践的ス	(キル	0				
教授法及び課題の フィードバック方 法	)文献講読および研究発表を行う。双方ともに発表、ディスカッション、振り返りとしての小レポート提出が求められる。また、各自の研究遂行に当たっては、文献研究などでえられた知見を地域社会に関わることでより実践的な理解に深めることも求められる。													
アクティブラーニング(		)	サービスラ		0		課題解決型学修			)				
受講条件 前提 科目	当ゼミの課	当ゼミの課題演習1,2を修了したもの。												
アセスメントポリ シー及び評価方法	卒業論文の提出を以て最終的な評価を行う。													
教材	特に定めない。													
参考図書	授業中に適	授業中に適宜紹介する。												
内容・スケジュー ル	スカッション	毎週水曜開講の卒業研究の時間を中心に,各自が研究の進行状況を報告・円滑な研究遂行のためのディスカッションを行う。また,適宜指導の時間を設け,個別指導を行う。卒業論文提出後はゼミ内で発表会を 行う。また、論文集を作成する。												

Number			Graduation Thesis						
Name	松本 学(Mataumoto Manabu)	Year and Se mester	Full-year for 202 0	Credits	4				
utline	will give various instructions to students so that they can actually perform survey research and summarize it in a graduation thesis based on the review theses they wrote in their junior year from the perspective of clinical developmental psychology.?								